

平成25年 第9回 定例教育委員会 会議録

招集日時	平成25年 9月19日 午後 2時00分						
開会日時	平成25年 9月19日 午後 2時00分						
閉会日時	平成25年 9月19日 午後 3時49分						
開催場所	ふじみ野市役所第2庁舎3階301会議室						
委員長	富山 章						
教育長	矢島 秀一						
書記	小川 正樹						
委員出席状況	席番	氏名	出席別	議事出席者			
	1	富山 章	出	教育部長 高山 稔	出	上福岡図書館長 吉川 益弘	出
	2	雪平 定夫	出	総務課長 西郷 雅美	出	大井中央公民館長 近藤 朗	出
	3	小熊千寿子	出	学校教育課長 山崎 祐一	出	上福岡歴史民俗資料館長 坪田 幹男	出
	4	富田信太郎	出	学校給食課長 関 敬二	欠	総務課主幹 池澤 信之	出
	5	矢島 秀一	出	生涯学習課長 桜井 信枝	出	学校教育課主幹 忽滑谷 敏之	出
						学校給食課主幹 佐藤 友直	出
傍聴人数			0人				
<b>会 議 概 要</b>							
委員長 (2時00分)	<p>平成25年第9回定例教育委員会会議の開会を宣言。</p> <p>ただ今から、平成25年第9回定例教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>まず始めに、前回の教育委員会会議録の承認についてでございます。</p> <p>こちらについては、各委員に事前に配られておりますが、何か確認事項等 はございますか。</p> <p>各委員 (確認事項なし)</p> <p>委員長 特に無いようですので、この内容で承認してよろしいでしょうか。</p> <p>各委員 (全員了承)</p> <p>委員長 それでは、定例会会議録につきましては、この内容で承認といたします。 後ほど、各委員の署名をお願いします。</p>						

教育長

次に、教育長から報告をお願いします。

○校長会資料から

- ・埼玉県第2期教育基本計画策定案を提示

大きく変わったところ

埼玉の子供たちの将来のために、夢や志を持つ子を育てるとともに、社会との関連が打ち出された。

国の政策に基づき110の方策が明記、学力テストを全学年実施するなど。

- ・25年度4月実施の全国学力状況調査結果（小6、中3実施）

学力に関しては学年差が出やすい面があり提示せず、児童、生徒の質問事項についての学校の調査を提示した。

夢や目標、人の気持ちがわかる人間になりたいという数値は高い。

【いじめについて】「いじめは良くない。」と思う児童の割合が、小学校は83%で全国平均より高く、中学校は平均と同等

「いじめはいけないとは思わない。」「どちらかといえば思わない。」というところに注意して対策を実施する。

【授業について】導入は小中ともよくできている。

【振り返りについて】中学校は「どちらかと言えばよくできた。」が多く、「良くできた。」が多くなるようにしたい。

【授業の展開（話し合い）について】小中とも「よくやった。」が低い。この部分でよくやったが増えると話し合う機会を通じて表現力やコミュニケーション能力がついていくと考える。

【学力課題の共有】小学校は85%だが、中学校が35%と県平均と比べ半分。

【学校として指導力向上の研修の実施】県平均と同等。

【学校経営（教育目標に向けてどのような方策を打ち出し、それを共有化できるかが課題）】小学校は「よくしている。」が85%、中学校はやや低いため職員の凝縮性を高めたい。

【小中連携】小学校は「よくやっている。」「どちらかと言えばよくやっている。」を合わせ100%だが、中学校は100%にならない。中学校はどこと連携しているのかの意識の差が出ている。

	<p>今後は、学力と子供たちの実態のクロス集計を考えている。朝食を食べている子は成績が良い。9時から10時までに寝る小学5年生は成績が良い。自分に良いところがあると思う子どもも、自己肯定感の高まりのため成績が良い。という結果になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の主張（2月実施）19名中から3名が県大会へ。</li> <li>・学校教育課長から 授業力の向上について。 生徒指導について。 学力テストの分析について。 本市の子供たちの活躍について—全国大会へ三角小ダンスチーム。</li> <li>・はばたけふじみん—小中学校に運動会等での定着をめざし取り組みをはじめたい。</li> <li>・たつまき—身近に起こる危険に対する対応策を提示。</li> <li>・管理職とは—「三流の管理職はやる気のない職員を見るとイライラする。一流の管理職はワクワクする。」という記事の紹介。</li> </ul>
<p>委員長 各委員 委員長</p>	<p>ただいま教育長から報告がありましたが、何か確認事項等がございますか。 (確認事項なし)</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それではまず、本日の議事に先立ちまして、お手元に配布しておりますとおり、事務局より追加報告の申し出がありました。申し出のとおり報告事項、「平成25年度埼玉県緊急雇用創出基金事業について」を日程に追加し、議題としたいと思いますがよろしいですか。</p>
<p>各委員 委員長</p>	<p>(全員了承)</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>本会議に提案されました議事を申し上げます。</p> <p>第41号議案、「ふじみ野市教育委員会会議規則の一部を改正することについて」</p> <p>第42号議案、「ふじみ野市教育委員会情報公開条例施行規則及びふじみ野市教育委員会個人情報保護条例施行規則の一部を改正することについて」</p> <p>第43号議案、「ふじみ野市教育委員会 公印規程等の一部を改正すること</p>

	<p>について」</p> <p>第44号議案、「平成26年度当初ふじみ野市立小・中学校教職員人事異動の方針等を決定することについて」</p> <p>報告事項、「平成25年第3回ふじみ野市議会定例会一般質問の概要について」</p> <p>報告事項、「平成25年度 埼玉県緊急雇用創出基金事業について」</p> <p>以上、議案4件、報告事項2件でございます。</p> <p>それでは、教育長から提案理由をお願いします。</p>
教育長 委員長	<p>各議案の提案理由に基づき説明。</p> <p>つづいて、審議に入ります。</p> <p>始めに、第41号議案を議題といたします。</p>
総務課長	<p>本議案の説明を、総務課長よりお願いいたします。</p> <p>ふじみ野市教育委員会会議規則第2条委員長の選挙規定に第1項で規定する無記名投票のほかに指名推薦方式の規定を加えるもの。その他は字句の改正。</p>
委員長	<p>この案件について、各委員の皆様から、ご質問がございましたらお願いします。</p>
委員長 総務課長	<p>この場で指名推薦方式の採用を諮るのですか。</p> <p>はい。案件の審議の際に各委員に無記名投票にするか指名推薦方式にするかを諮っていただき、投票に決まれば無記名投票を行い、指名推薦方式になればどなたかの推薦をいただき、全員の同意を得られれば決定します。</p>
雪平委員	<p>無記名で投票する場合は多数決で、指名推薦の場合は全員の同意となるのですか。</p>
総務課長	<p>無記名投票の場合には、誰が誰に投票したかがわからないようになっているため多数決となりますが、指名推薦の場合には全員同意することとなっています。</p>
委員長	<p>他に質問はございますか。</p> <p>他に質問がないようですので、お諮りします。</p> <p>第41号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(全員賛成)</p>
委員長	<p>賛成総員と認め、第41号議案は、原案のとおり決定いたします。</p>

<p>総務課長</p>	<p>次に、第４２号議案を議題といたします。</p> <p>本議案の説明を、総務課長よりお願いします。</p> <p>情報公開、個人情報保護条例施行規則の資料閲覧に関する委任規定の中で平成２４年度の組織改正で庶務課が文書法務課に変更されたことに合わせ、字句を修正するもの。</p>
<p>委員長</p>	<p>この案件について、各委員の皆様から、ご質問がございましたらお願いします。</p>
<p>各委員</p>	<p>(質疑無し)</p>
<p>委員長</p>	<p>特に質問がないようですので、お諮りします。</p> <p>第４２号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(全員賛成)</p>
<p>委員長</p>	<p>賛成総員と認め、第４２号議案は、原案のとおり決定いたします。</p> <p>続いて、第４３号議案を議題といたします。</p> <p>本議案の説明を、総務課長よりお願いいたします。</p>
<p>総務課長</p>	<p>今年度４月の組織改正に伴う字句の修正及び社会体育課の被服貸与部分を削除するもの。</p>
<p>委員長</p>	<p>この案件について、各委員の皆様から、ご質問がございましたらお願いします。</p>
<p>各委員</p>	<p>(質疑無し)</p>
<p>委員長</p>	<p>特に質問がないようですので、お諮りします。</p> <p>第４３号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(全員賛成)</p>
<p>委員長</p>	<p>賛成総員と認め、第４３号議案は、原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、第４４号議案を議題といたします。</p> <p>本議案の説明を、学校教育課長よりお願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>埼玉県教職員人事異動方針は市の教職員人事異動方針としてとらえる。</p> <p>ポイント－気風の刷新、適材を適時適所に配置、人材育成、地域差学校差の是正、計画的な選考、異動の実施。</p> <p>転任転補－適材を適時適所に配置、新規採用後早期に複数校を経験させること、同一校勤務年数の長い者の積極的な異動。</p> <p>細部事項－基本的に前年同様だが、勸奨退職年齢が４５歳以上で勤続２０</p>

	<p>年以上のものと変更。転任転補は教職員の意向を把握すること。異動を控える者（同一校3年未満の者、産休育休及び妊娠中の者、休職中の者）。新採用教職員、事務職員等は採用後5年以内に市町村間で異動実施。同一校は在職10年以内に異動、7年以上は積極的に異動。校長、教頭の同時異動は行わない。小中学校間の移動に努める。</p> <p>現在、小学校教員の平均年齢40.7歳、中学校が43.9歳で毎年1歳ずつ若年化。県の方針を順守しながらも校長先生との話し合いを通じて学校の教育活動に支障をきたさないより良い人事異動を行う方針。</p>
委員長	<p>この案件について、各委員の皆様から、ご質問がございましたらお願いします。</p>
小熊委員 学校教育課長	<p>転任転補で教職員の意向を把握する場合の具体的方法を教えてください。</p> <p>校長先生に教職員と面接をしていただき、転居などによる家庭の事情など異動について配慮しなければいけない点を、校長先生を通じて把握しています。</p>
教育長 学校教育課長	<p>調書は作成するのですか。</p> <p>基本的には各教職員が作成した調書を提出していただき資料とします。</p>
教育長 学校教育課長	<p>どのような内容を意向として書くことが出来るのか教えてください。</p> <p>意向地として市町村名を記入し、その書かれた市町村名を意向対象の地としてとらえ、校長先生と相談して決めます。</p>
小熊委員 学校教育課長	<p>原則として、校長と教頭の同時異動は行わないということですが、原則外という場合は、どういう事例がありますか。</p> <p>校長と教頭が同時に異動してしまうと学校運営の継続性が担保できなくなってしまうため基本的にはどちらかが残るものをご理解ください。</p>
教育長	<p>本市の三角小学校での事例ですが、教頭先生が校長選考を通り、その年に校長先生が定年退職予定であり、教頭先生は57歳で次の年に校長にならないといけませんでした。この場合は同時異動になりますが、教頭先生は三角小の校長先生になりました。</p>
委員長	<p>他に質問はありますか。</p> <p>特に質問がないようですので、お諮りします。</p> <p>第44号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(全員賛成)</p>

委員長	賛成総員と認め、第44号議案は、原案のとおり決定いたします。 それでは次に、報告事項に入ります。 報告事項「平成25年第3回ふじみ野市議会定例会一般質問の概要について」の説明を総務課長よりお願いいたします。
総務課長	11日から3日間の間に議員17人中、10名の議員から12項目の質問があった。学校に係わるものとして、(島田議員)インターネット依存症について、タブレット授業について、(小林議員)幼児教育に関して小学校教育との円滑な連携について。
委員長	この案件について、各委員の皆様から、ご質問がございましたらお願いします。
各委員	(質疑無し) 特に質疑等がないようですので、本件の報告事項については、これで了承したいと思います。
生涯学習課長	それでは、次の報告事項「平成25年度埼玉県緊急雇用創出基金事業について」の説明を生涯学習課長よりお願いいたします。 平成25年度埼玉県緊急雇用創出基金事業の起業支援型地域雇用創造事業に生涯学習課の2件の事業が採択され、趣旨、内容、予算措置等を説明。 インターネット講座開設事業 インターネットを活用した学習機会を提供する事業。 体験活動企画運営・人材育成事業 自然体験活動、保全活動を推進する市民や団体のリーダー育成を行う事業。
委員長	この案件について、各委員の皆様から、ご質問がございましたらお願いします。
小熊委員	委託事業の基準の①「事業主体が企画した新たな事業」について教えてください。
生涯学習課長	市が企画した事業を起業後10年未満の事業所、NPO法人などに委託し実施していくというものです。
小熊委員	その基準は①から⑤までと言うことですね。 インターネットの委託先はどちらですか。
生涯学習課長	現在市内にあるインターネット業者を介して探しており、その当てについて

<p>小熊委員 生涯学習課長</p>	<p>ては固まりつつあります。 東松山の比企自然学校について教えてください。</p>
<p>教育長</p>	<p>国際自然大学校にコーディネートしていただき推薦頂いた比企地域をフィールドワークとしている起業して3年目のNPO法人です。 気を付けなければいけない点は、両事業とも1年で歳入の予算は無くなります。リーダー養成事業で今後はそのリーダーが事業を引き継ぎますが、900万円ではなく0円となり、インターネット事業についても1年間の中で事業を広げたのはよいが、翌年に同額の予算が計上されるであろうと受講者が期待する部分があるかもしれませんので、継続性を含めて考えておいてください。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>インターネット事業については、サーバーが必要になりますので、その予算については財政課に協議してあります。 人材育成については、自然環境保全団体とのネットワークを構築するのが主目的となり、そこと連携を図るなど事業経費がかからない方法を考えていきます。</p>
<p>雪平委員</p>	<p>インターネット講座事業ですが、委託先の企業が何を学習して何を情報提供する事業なのか教えてください。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>委託企業が、ここに示す情報を得られるようなシステムを作るというものです。インターネット上に生涯学習センター的な機能を持つホームページを立ち上げるイメージになります。</p>
<p>雪平委員</p>	<p>ホームページを開いていくといろいろな学習が出来るシステムを作っていくということが理解できました。 ところで、ホームページですと書き換えが必要になり、1年2年は予算がありますが、3年目からは、それに参画している市民が書き換えを行っていくようになるのですか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>理想としては、そのような方に行っていただきたいのですが、今回構築するシステムは職員でも容易に更新が出来るようにすることが条件です。また、インターネット講座は、まずは行政の様々な講座で、地域課題、行政課題から始め、その後、市民企画提案型の講座であるとか大学と連携した講座へと段階的に進めていきたいと考えます。</p>
<p>雪平委員</p>	<p>事業がうまく動き始めたときのこのシステムの啓発はどのように考えてい</p>

<p>生涯学習課長</p>	<p>ますか。</p> <p>広報や市のホームページを通じてお知らせしていきます。ホームページが立ち上がった際には、市のホームページからリンクできるようにしていきます。</p>
<p>雪平委員</p>	<p>うまく成功して市民に広がっていくと行政が身近に感じられるようになりますので是非うまくいくといいですね。</p> <p>また、リーダー育成事業についてですが、どういう人たちで何人ぐらいを想定されていますか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>2つの方法を想定していきまして、一つは広く市民全てを対象にして講座を開く方法、もう一つは、設立予定の市民憩いの森実行委員会のメンバーの方を対象にして、より深い活動をしていただき、参加した市民の受け皿になっていただく方法です。</p>
<p>雪平委員</p> <p>教育部長</p>	<p>実質2年間弱でのリーダー育成は、部長から見て如何でしょうか。</p> <p>文京大学やボランティアグループと連携し、そうした活動組織のノウハウを活用しながら将来的にはNPO法人としての組織化が出来ればよいと考えます。ただ、いきなり法人としての立ち上げは出来ないなので、今は、実行委員会方式で徐々に発展していければと考えています。</p>
<p>雪平委員</p>	<p>リーダー育成が順調にいくかどうかについては、課長に負担がかかってしまうのではないのでしょうか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>先ほどお話ししましたNPO法人の国際自然大学校が全面的に協力をしてくださる旨申出が有り、事業計画や内容の進め方などコーディネートを行っていただきますので、職員に過重な負担がかからないよう事業を進めていければと考えています。</p>
<p>雪平委員</p>	<p>内容的には県も認めた事業でよいものだと思いますが、しかし、実働は課の職員が行うことになり、他の仕事がある中で過重な負担にならないか、課の人員体制から考えると心配ですが、大丈夫でしょうか。</p>
<p>教育部長</p>	<p>これから来年度の組織について要望の時期を迎えます。しかし、要望しても課の人数を増やすことは困難な状況もあります。現状における生涯学習課の組織では限界がありますので、安定的に事業を継続させていくためには、地域やボランティアの力を取り込みながら、また、非常勤職員や臨時的職員などの人材をうまく活用していくことが重要だと考えます。</p>

雪平委員	2つの事業を同時並行して展開していくので、事業自体が成功することを期待しております。
小熊委員	委託事業の基準の中に「失業者の雇用が継続的に期待できる事業」とありますが、この2つの事業がどのように結びついていくのですか。
生涯学習課長	予算の額に占める人件費の割合が64%で新規雇用の失業者をハローワークを通じて雇用することになっています。この企業自体は、事業が終わった後も継続して運用が出来る企業であることが定められています。委託をする前にその事業者が継続性のある事業者かどうかを有識者に判断してもらうことになっています。
委員長	他にはよろしいですか。 他に質疑等がないようですので、本件の報告事項については、これで了承したいと思います。
委員長	以上で議案4件、報告事項2件の審議を終了いたしますが、各課から別件で報告をしておくべき事項がありましたら お願いします。
教育部長	・市役所増築、耐震工事内容について。
生涯学習課長	・平和事業パネルディスカッション（10月6日）について。
学校教育課長	・小学校運動会開催（9月28日）について。
図書館長	・上福岡図書館蔵書点検のため休館（9月24日から10月4日まで）
委員長	ありがとうございました。 以上で、平成25年第9回定例教育委員会会議を閉会いたします。 なお、次回の定例教育委員会会議につきましては、平成25年10月17日（木）午後2時00分から、場所は市役所第2庁舎3階301会議室を予定しております。 本日は大変お疲れ様でした。
(15時49分)	閉会